

とある離島の診療所～失われた記憶～後編

クアトロ

■作品概要

△サークル△

癒し庵わむの猫（シナリオ／効果音／音声収集：クリエイターズ）

△ジャンル／年齢指定△

バイノーラル音声作品／全年齢

△作品ボリューム△

120m △詞文数 14,281文字

△舞△

現代△とある島△鹿や牛の病院△ビーチ

■登場人物

△ヒロイン△

名前 .. 天道縁（アハヂカ ユカコ／27歳）

人物 .. 島の診療所に勤める医師／以前は大都市の病院に勤めていた

島民を愛し愛されている

毎日聴き手の様子を見舞い、根強く治療に向かってこな

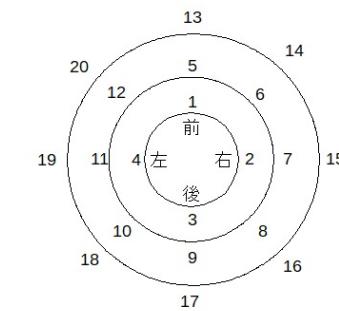
快活な性格／誰に対しても優しく慕われている

趣味／特技 .. 毎朝のジマギング（始めたばかり）△家庭菜園

△聴取者△

患者 .. 島民△記憶を失ってこな（27歳）

△口語位置の指定図△



図はマイクとの距離を示しています
1~4 ± 30cm
5~12 ± 50cm
13~20は1mを想定しておきます
距離が取れない場合、こちらの音量調整等で対応します

1：7田18田 湾の田の朝（病院／朝）1199文字

（ドアを開閉する音）

（位置20／有声音）

おはよー♪

（縁の足音）

（位置2／有声音）

今日も天氣がいいねーっ！
いやー、暑い暑いー♪

ねぇ、知つてた？

今日は海の田、診療所もお休みなんだー♪

暑いけど、晴れてよかったです♪

でわ…、突然なんだけど…。

「…な田は…、ビーチにでも行つて、気分転換してみない？
えー、だつて随分前だけど、約束…、したじやない？
なにして、水着…、なんだけど…。」

私、そのためにダイエツトもしたんだ…。

で、どうかな？

ビーチ…、行かない…？

（位置2／有声音／小声）

そつか、行かない…か。

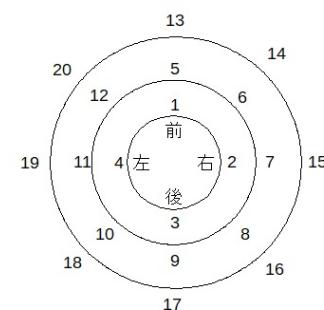
まあいいけどね♪

（位置2／有声音）

今日みたいな日射しだと、私（わたし） たぶん熱中症かもだつへ。
あはつ♪

なーんつてね♪

まあそれは冗談♪



わて…、半開詰はじめへりごこちて…。

今日も検温、すねよー。

おーたそんな事言つて…。

面倒でもやつてもうひつさだからね?

はー、体温計。

セリヤと詰つひやつてー。

(体温計の音)

(位置2／有声音／小声)

ねえ…、私たちが「の島に来て、もう直ぐ一年経つて信ひだね。

だよねえ…。

「の島に来た日…。

あの日も「んな風に日射しが強かつたつけ…。

(縁の足面)

(位置11でマイクと反対を向きながら／有声音／小声)

ほり、君にも見えぬでしょ?

窓の外はあんなにもキワキワしてね。

(位置11でマイクと反対を向きながら／有声音／小声)

真っ白いビーチに、どけまでも青い海…。

眩しごへり…。

「の島に来た日…。

あの日も「んな風に輝いてた…。

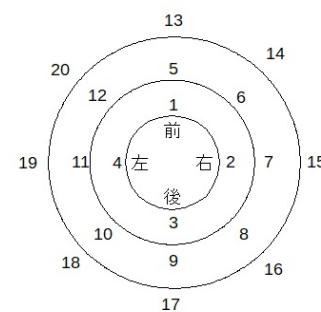
まるで…、私たちを歓迎してくれてゐみたいに…。

(位置11／有声音)

あ、ごめん、何でもない。

(体温計の音)

お、計り終わつたね。



んーと…、今日も異常なしつと…。

あー…。

あのヤ…、しつこい様だけど、海の日なんだし、ビーチ…、行かない?
私は行きたいなーって思つてるんだけど。

大自然に触れて、見て、感じたら、なにか変わるかも♪
なについて言つのはヤ、ほら、君の記憶とか…。

それに、私の水着も見れるんだよ?

というか…、見て欲しい…、みたいな?

(位置11／有声音／小声／落胆したという感じで)

ああ、そう…、行かないつか…。

(位置11／有声音)

ああ、ううん、いいの。

無理矢理引つ張り出したりしないからつ。

あ、そうだつ♪

もし出かけたつてなつたらヤ、帰りにアイス買ってあげるよ♪
どう?

あはつ♪

ちよつと興味が出てきたみたいだね♪

君はホーント、昔つからアイスが好きなんだから♪

あ、そうだ。

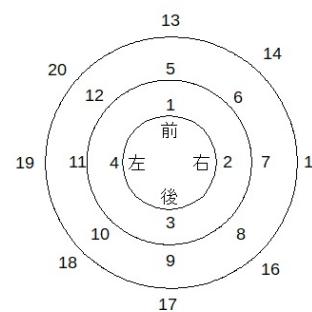
君がいま食べたいアイス、当てるみせようか?
えー、当てるみろ?

へえ、やけに挑発的じゃん♪

じゃあヤ、セーのでお互い思い浮かべてのアイス、言い合おうよ。

いい?

セーのつー



「バリバリ君ソーダ味つー！」

ビンゴつー

やつたあ♪

へつへーん♪

「これでも結構君とは長いから、好みはお見通しなんだよねー♪
あ、そうだ。」

アイス正解したんだから、一緒に出掛けようつよつー
えー、いいじゃなーい。

まあ無理にとは言わないけじやー。

うーん…。

アイス…、二個でどう…?

流石にこりなんじや釣れないか…、あはは…。

へ？

いいの？

あ、ううん、何だか拍子抜けしちゃつて…。

で、ホントにいいの？

そつか…、いいんだ…。

えーっと…、じゃあナ、一番近くのビーチでいいかな?
そう。

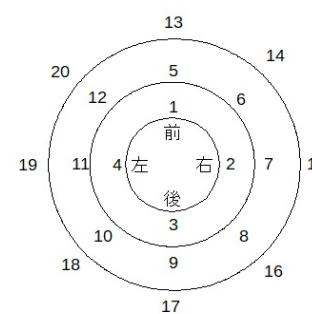
歩いて行ける距離の♪

うんっ、じゃあ決まりね♪

せつかくのお休みなんだしー、私も羽を伸ばすねー一つ♪

つて事でー、私は水着に着替えて来るね♪

うん、じゃあ君は玄関で待つて♪



2：7月18日 海の田のビーチ（ビーチ／午前）3598文字

（位置7／有聲音）

ふうー…、着いた着いたー。

ねえ、大丈夫？

暑さでバテてない？

そつか、ならいいんだけど。

それにしても、相変わらずのビーチは六場だよね♪
島民ですら余り来ないみたいだし。

つて事でー…、取り敢えず、日陰に避難しようつか。
出かける前に日焼け止めは塗ったけど、

今日みたいな日射しじや、それでも日焼けしちゃう…。

（位置7で周りを見回しながら／有聲音／小声）

んー…、日陰…、日陰…。

（位置7／有聲音）

あ、あのせっせつしてる木の下（した）にしない?
ほひ、あんじつ。

ちようど一人入れぬべからこの日陰になつてゐる
よーつし、決まりね♪

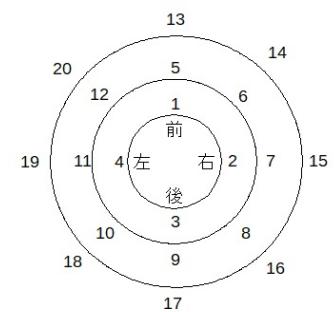
（一人の足音）

まだ午前中だからか、人も居ない♪
私たちの貸し切り状態だー♪

ラッキー♪

（位置7／有聲音／小声）

うーん、浜風のお陰もあって、日陰は涼しげ♪
あ、座るの待つて。



レジヤーシート持つて来てるから、敷 (レ) こりやうね。

(レジヤーシートを敷く音)

はー、ここよー♪

ほーう、座つて座つて♪

(腰掛けぬ音)

(位置11／有声音／小声)

よつと…。

(伸びをする) んん…、んんーー…、はあー…。

えー?

重つたでしょー?

羽を伸ばすんだって♪
だから伸ばしてるの♪

バッサバッサ♪

ど?~?

羽、伸びたかな?

伸びすげー、飛んで行つちゃわないかな?

あはつ♪

じょーだんつ♪

そんなんに不思議(う)な顔しなくてもいいじゃない。
もー、ほんと君はなんでも真に受け取るんだからー。

あ、そうだ。

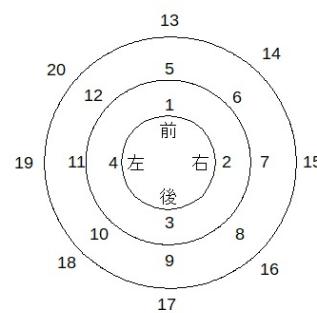
喉、渴いてない?

熱中症になつちやつたらいけないから♪、お茶、持つて来たんだー♪

飲む?

オッケー。

んじゃあ、ちょっと待つてね。



(紙コップを取り出す音)

(紙コップにお茶を注ぐ音)

せご、
せご、

冷たいから、頭ギーンってならないようになふ

私モ飲モリニ

(續一) にお茶を注ぐ音

(食記) 沖縄

卷之三

ノオノア、ガムの三ノノ

んん...。

(位置) からへ移動しなが／有声音／小声)

に驚いた様な顔して

（但語）（有音）（凡音）

卷之三

卷之三

どうつて事実うやなー?

(位置5／有聲音／かなり小声)

۷۰

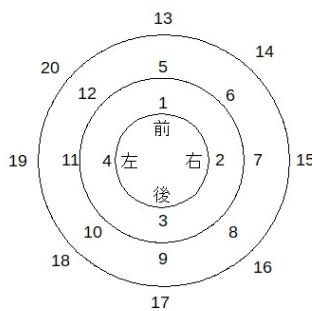
いつだってどんなやつだった…。

(位置5／有聲音／小聲)

ああうん

なんでもなし

忘れてもらつちや困るけど、水着、見てもらつんだからね？



あはつ♪

待つてましたつて顔♪

なんだかんだで見たかったんじやん♪
じゃあお披露目しちゃおうかなー?

どうしようかなー?

私ね、今日この日のために新しい水着を買ったんだー♪
どう?

わー、そんなんに田をキラキラセせて、やーうしー。
まあどうせ、君くらこしか見せる粗手、居ないし、
別に恥ずかしくないかなーって。

んでヤ、どうせ見せつけるために買つなら、気合入れたくなるじゃない?
なるの?、いいの?。

だからその…、ちやんと見て欲しいなーなんて…。
あー、見て欲しいって言うのは…、特に深い意味はなんだけど…。
つてか、何だか私が変な人みたいじゃないつー^ト、とにかく…、可愛いの買つたから…、見て…?
うん…。

じゃあ…、パークー脱いじゃうね…。

(ファスナーを下ろす音)

どう…、かな…?

年甲斐もなく黒のビキニー…、買つちゃつたんだけど…。

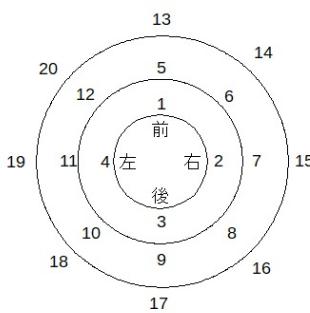
派手すぎる…、かな…?

ホントつ?

えへへつ…、そつか…、似合つてゐ…、か…。

(位置5／有聲音／かなり小声)

コツシャーー!



(位置5／有聲音／小声)

ああ、ううん。

何でもないよー♪

え、何?

一周回って欲しい…?

ん…、別に構わないけど…。

「こんな機会、滅多にないし、まあいいか…。

じゃあバーバーニュウと回ねか？、田に焼かれてよねー…」

(縁が絆ち上がる音)

えじゃあ、いくよー?

(位置5で一周回りながら／有聲音／小声)

バーニュウ…………。

(位置5／有聲音／小声)

じうじうじう…。

「の結び田がリボンになつたの、すひー JV 可愛くないへ…

だよね♪

「これが選ぶ決め手だつたんだー♪

えつ…、そんなに似合つてゐ…?」

そつかそつか…。

えへへ…、買つてよかつたね…。

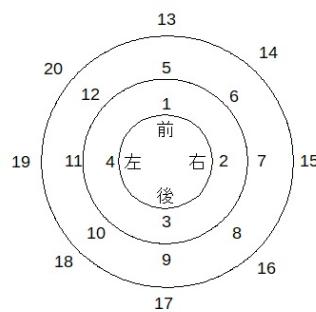
へ…?

「のリボン…、引つ張る…?」

バーカつ！

そんな事したら、水着が脱げちゃうに決まつてねうじょー…
もつー、ヒツチ…。

あーでも…、ビーチには誰も居ないし…、今なら或いは…。



なーんて、冗談つゞ

君、鼻の下伸ばしちゃつて、ホーント分かりやすいつゞ

ああ、「めん」「めん…。

ちょっと悪ふざけが過ぎたね…。

怒った…？

そつか、じゃあいいんだけど。

え、なに？

あー、私は泳がないつもりで来たから。

君が泳ぎたいなら、いいよ、行つてきな。

水着なのについて…。

ああ…、私は足だけ入つて、涼めればいいかなーつて…。

え、水着の必要性…？

(少ししぶりした感じで／ゆづくり)

それは…、その…、君に見せるためだけ…、って言つたら変かな…？

だつて…、約束した日…、あんなに嬉しそうな顔してたから…。

だつたら、私だつて期待に応えなきやつて…。

それでその…、気合入れて來たんだけど…。

ちょっと戻りしちゃつたかな…、あはは…。

でもねつ…、私…、水着姿を君に見てもうれて…、よかつたつて思つてゐる…。

あー…、いい方が変かな…？

これじゃ私がただの変な人みたい…。

でもいいの…。

「うして見せられた事で…、なにかが変わるかもしないから…。

へ？

ああ…、確かに…。

医師が患者に対して、なに言つてんだつて話だよね…。

(「J」もどうしんみりした感じで)

(から元氣といつた感じで)

まいこじやないか

それに君ー?

私の水着姿が見られるなんて、すうじゅんなんだからさ、感謝してよねつ。

(「J」までから元氣といつた感じで)

へつ?

膝枕?

なんでいま、膝枕の話が出でへるのや..
しに欲しつつ…。

「J」で…?

あー、君ヤ、もしかして太ももにスリスリしたいだけなんじやないの?
黙つてゐつて事は図星なのかなー?

じうなのー?

へ…?

一生のお願い…?

参つたなー…。

「J」まで言われると…、なんだか断りづらこじやない…。

んー…、いいけど…、膝枕、するだけだよ~.

ほひ、「J」、おいで~.

(膝に寝転ぶ音)

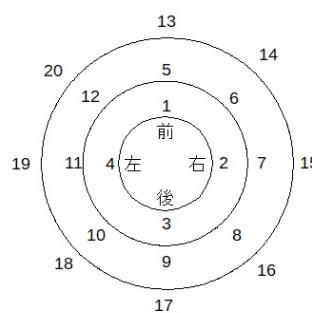
(位置2／有聲音／かなり小声／ゆつぐつ)

んでー?

突然どうして膝枕な訳ー?

水着だから…?

なにそれ…。



やつぱり太ももが丑寅だつたんぢやない…。

まあいつか♪

今日は特別に天才医師、天道縁の太ももを君に差し出しつつ♪
感謝してよねー。

こんな事、滅多にない、「トクベツなコト」、なんだからつ。
あ、そうだつ♪

特別ついでに、もーひとつイイコトしあげぬ?♪

(耳ふー) ふー…。

あはつ♪

ビクつてした♪

そう、君の大好きな、耳ふー♪

(耳ふー) ふー…、ふー…。

「」一う、動かないのつ。

それともなに?.

膝枕、やめちやつ?

ふふつ♪

素直でよんしじ♪

んじやあ、そのままジッとついて?

(じせい／耳ふー or はー／休憩しながら取録トセ)

ふー…。

ふつふつふつ。

ふー…。

ふー…、ふー…。

ふつふつふー…。

はー…。

はー…、はー…。

はつはー…。

はつはつはー…。

はー…、はー…。

はー…。

はー…。

(位置2／有聲音／かなり小声／ゆつぐ)

あはつ♪

「ふー」だけじゃなくて、「はー」もしきみたよ♪
どうだつた?

太もも最高…?

あのね…、そつこじやなべつー…

つて、まあそつこでもこいんだけど…。

あれ?

いいのか?

まあどつこでもこいいや。

んでー?

耳ふーの方はどつなの?

お替り…?

なにそれ…♪

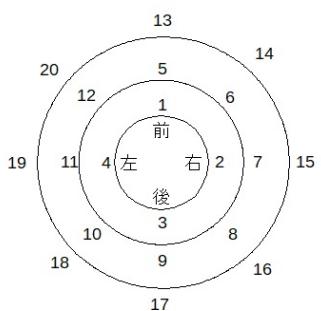
私の耳ふーを、食べ物みたいに言わないで下ヤーー。

そんな言つ方すると、ホントに食べちゃうんだからね?

(声を抑えて耳を噛む擬音) ガブガブガブ。

ふふつ。

そんなに身構えひやつて、ホントに噛む訳ないでしょ♪



「いらっしゃりなんでも、ナリナリでしませーん♪

私は医師、君は患者。

その所、ハツキリセさせておかないとね♪

当り前じやない。

だから、この膝枕だつて特別なんだからつ。

(弦く様に) ナリナリ、トクベツなんだよ…。

ああ、ううん。

深い意味はないよ?

うん、ないない。

…続やつー。

そう、続やしよー。

え?

反対側?

ああ、いこよ。

んじやあ、ゴロソと寝返りしてね♪

(寝返りの音)

(位置4／有聲音／かなり小声／ゆっくつ)

んじやあ、こいつもこいくくな。

(じめい／耳ふー or はー／休憩しながら収録下さる)

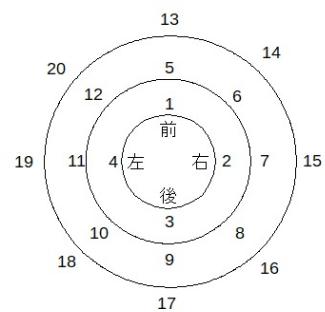
ふー…。

ふつふつふつ。

ふー…。

ふー…、ふー…。

ふつふつふー…。



はー…。

はー…、はー…。

はつはー…。

はつはつはー…。

はー…、はー…。

はー…。

はー…。

(位置4／有声音／かなり小声／ゆつぐ)

ねえ…。

「んなに君に近くて…、二人つき…。

他の人から見たら、カップルだと思つだうね…。

うん…、もうじやないって事は分かってる…。

でもいまは…、いまだけはもうこう事にしてくれないかな…?

そう。

これもトクベツつ♪

海の日限定、水着彼女ー♪

なんてねつ♪

もー、なんか言つてよ…。

言つた私が恥ずかしいじゃない…。

つてかさ、君だってホントは嬉しそくせにつけ

ほーら、図星じやんつ。

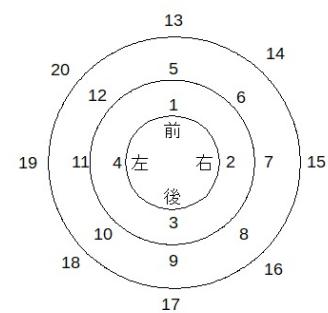
うつそだー。

だつて、目がスイスイ泳いでるもんつ。

じー…。

ほら、スースーいつて泳いでるつ。

あはつ♪



わっかりやす～♪

ほ～、正直になりなよ～♪

(耳ふー) ふーーー。

それともーーー、私じゃ不満ーー、かなーー?

(耳はー) はっはーーー。

聞かせて欲しいなーー。

そつかーー、そつだつたら嬉しいーー、つかーー。
じゃあたーー、私たかーー、そのーー。

え?

ああーー、わうだねーー。

医師と患者ーー、だつたねーー。

あははーー、君に言われちやうとは、情けないなーー。
んじやあ、イイコトタイムはもう終わるつか?
うん、起き上がって?

(起き上がる音)

(位置5／有聲音／小声)

え、またして欲しいって?

いいけどーー、こまちりや言つた事と、少し矛盾してない?

ふーーん、物は言い様だよねー。

ま、いいけどねー。

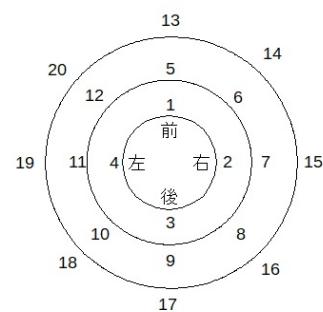
うん、して欲しい時にしてあげるから、聞いてよ♪
んじやあ、もう少し波の音を聞いたら、帰ろつか?

あ、そうだね。

帰る時でいいから、少しだけ。

うん、海に入りたい。

あ、私は、足だけでいいから♪



知は?

そつか。

まあ、こいつでも来れたし、泳がたくなつたらまた来よいもん
あ、喉渇いてたら呑ひしね。

え?

ありが…と“…?

なにや…、應に…。

あ…、どう…こたしまし…?

なんか照れぬ…。

なんでつて…、もう…、バカ…。

知らない…。

3:10 田31日 ヘロカイン (病室／夜) 3734 文

(アーチアを開闢する音)

(位置20／有聲音)

ハッピーハロウイーン

(縁の足音)

(位置5／有聲音)

お菓子をくれなきゃーイタズラしかやうがー

(位置5／有聲音／小声)

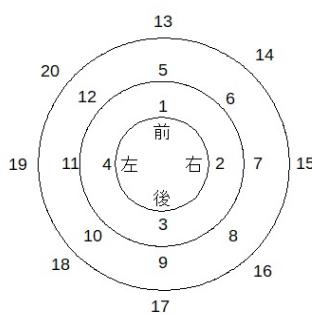
しかやう…、やー…。

ねえ…。

ボーッとしてないで、なにか呑ひしもー…

なにがつて、この格好、コスプレしてねー…

見て分からぬ…?



(ため息) はあ…。

あのねー…、今日はハロウイン。

年に一度の収穫祭なの。

で、私は気合を入れて、魔女コスをしてきた訳。

ほう見て♪

可愛くない?

(得意げに) ふふん♪

ん…。

あー…、あのせ…。

君が魔女のコスプレ衣装が好きっていつから、着てもいたんだけど…? なにか言つてくれないと、気合を入れて来た私が恥ずかしいじゃない…。

ほら、フリフリが付いたスカート…。

フリフリー…。

ねえ…。

そんつなに私のコスプレに興味ない感じ?

夏に話た時は、あんなに乗り気だったのに…?

あつ…、もうなんだ…。

ないんだ…。

オッケー オッケー…。

慣れてる慣れてる…。

(位置5／有聲音／かなり小声)

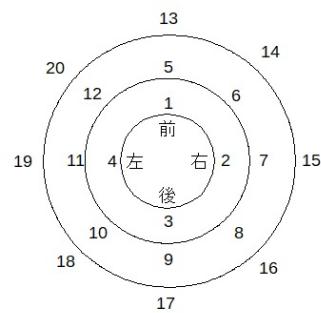
(咳払い) う、うんっ。

お菓子をくれなきや、イタズラー…。

しー…。

ちやわないのでー…、もつと見て欲しいなー…、なんて…。

ん…。



(位置5／有聲音／小声)

あ、いいんですか?

見てくれないなら、もう着替えちゃいますけど…。

せつかぐのコスプレ衣装、着替えちゃいますけどー~
へ?

寒そーう…?

で、出たーつ!

身も蓋もない、一番イタイ指摘つ!

あのね…、確かにそりゃ寒いよ…?

肩はスースーするし、スカートも短いし…。

でもヤ…、君が見たいって言ったから、一生懸命これを選んだの…。
少しふりに褒めてくれてもいいじゃな…。

へつ…?

かわ…、いい…?

そう…?

えへ…、えへへ…。

ああいけない…。

んで?

可愛いの他に、もつとないの?

へいへーい、カモーン♪

ビビッてんのー?

おー?

どうなのー?

あ、ないんだ。

そつか、ないんだ…。

ううん、いいの。

慣れますから、はい。

あー…、えーと…、着替えた方がいい…?

そう、じゃあこのままで困るけど。

ねえ…、イタズラしちゃうぞー…。

はい、黙ります。

えーと、なにつ?

待つて待つて?

「わい」「わい」。

なにつ、この温度差つ、なにつ?

うつれでしょ?

じぐらなんでも冷め過ぎじゃない?

季節のイベンツつ。

楽しみじゃないのつ?

あ、そうですか。

はーい、今度この黙りまーす…。
んん…。

(黙りません) んでさあ、褒める事はなくとも…、なんか…、ね…?

この格好でして欲しい事…、とか…?

君との距離がグーと近付く…?

耳…?

かきつ。

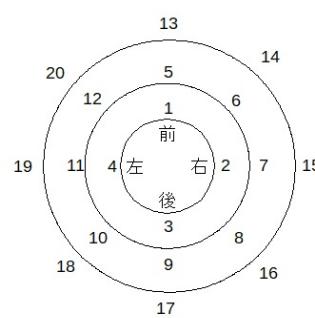
そつつー…

耳かきつ!

え…、耳かき…?

また…?

違うけどまあいいや…。



んじやあヤ、今日はアレ使おうよ。

ほら、「」の前通販サイト見てたら、「」れ面白かったて、買った耳かき棒。
なんか先がブワシ状になつてたやつ。
あんなの初めて見たなー。

(縁の足音)

(位置5から7に移動しながら／有聲音／小声)
えーっと、ど「」に置いてたつけ…。

(位置7／有聲音／小声)

ああ、あつたあつた♪

つて、まだ開封してなかつたんだ?
そつか、私にやつてもううから…、つか。
てか、やつてもうう氣満々じやない♪
まあいいけどねー。

ほら、「」ひか、おいで♪

(ベッドに寝転がる音)

(位置4／有聲音／かなり小声で台詞ゆづり)

ちよつと、あんまり顔を膝に押し付けないでつ。
生足だから、くすぐつたい…。

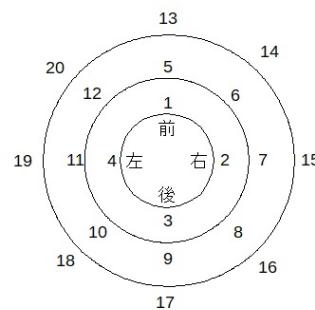
「」一うつ、わざと押し付けないの「」ー。

もう、君つたら反応は薄かつた癖に、実は嬉しいんじやない…。
まあいいや。

んじやあ、耳かきしていこうね♪

どれどれ…、新しい耳かき棒はどんな感じかな…、つと。
おおー。

なんだかプチプチ鳴つてるねど、これ気持ちいい?
そつか。



かなり独特な音だけど、してもううつてる君が気持ちいいなうれでいいや♪
てかさ、こなんんホントに、耳の汚れって取れるのかな?

だつて見た目はなんか…、トゲトゲしてるだけだし…。

んーと…、どれどれ…。

耳の汚れは…、つと。

あ、あつた。

んんー…、んー…。

おおー、取れた♪

へえー、取れるんだ。

え?

ああそうだね。

じゃないと耳かき棒って名称で売っちゃ駄目だよね、あはは…。

成程ねー。

実用性だけじゃなくて、気持ちよさも追求した結果が、これなんだー。
耳かき棒つてさ、いろんな種類があるじゃない?

例えば…、竹だったり、金属に…、プラスチックとか♪

それだけじゃなくて、先端の形も様々だし。

今使つてるこれも新鮮♪

少し前には、先端がバネみたいになつてたのもあつたよね♪

君は耳かきしてもうひの好きだから♪、色々と試してみたい♪

そうだよ、私だって興味あるもん。

君がどういう反応をするんだろ?うつてね♪

そう。

耳かきストゆかりが、君の反応次第で気持ちいい所をえいやーつてやるの♪

え?

怖い?

大丈夫だつて♪

なんとかなるつて♪

そう、えいやー、とお一つでね♪
うー、そりやつ。

ほいっ。

とりやつ。

どり?

怖くないでしょ?

ないよね?

でしょー?

やつぱりだよねー。

え?

言つてない?

ああ、大丈夫。

君の心の声が聞こえたから。
そう、心の声で気持ちいいって。
しかと受け取りました。

ピピピ…。

あ、また受け取つた♪

早く続きをしてくれーつて♪

どり、合つてゐでしょ?

ほいーつ。

やつぱりねー♪

そつなんじやないかと思つたんだー♪

え?

あつはい、続きね…、続サ…。

♪♪♪…。

あ、このひの続歌じゃない。

ですねー。

えー、なあに？

楽しそうや。

当り前じゃない。

季節のイベントは、楽しむかや。

中には異議を唱える人も居るけどヤー、私としては楽しければいいかなって。

君は？

「ううイベントとか興味ない？

なーんだ、興味あるんじやん♪

あれ？

つてことはー、君もコスプレしたかった？

あー、そつかー…。

そうしたら事前に聞いておけばよかつたねー…。

「あん」あん。

でも今はヤ、コクエストに応えたんだから…、許してんで、うひしょ♪

来年は、一人でコスプレして、お祝いしようつづく
ね？

うん、決まり♪

やつぱり君、お祭り行事が好きなんだねー♪

ああ、なんでもない。

気にしないで♪

あ、やつわら梵天ー…。

そういうえばヤ、この耳かき棒、梵天が付いてないやつだ…。

あー…、ねうだね。

梵天だけいつも耳かき棒で…。

よし、こくよー♪

ふわふわー…。

ふーわ…、ふーわ…。

(耳ふー) ふー…、ふー…。

ふわー…、ふわー…。

(耳ふー) ふー…、

ふわつ…、ふわつ…、ふわわー…。

(耳ふー) ふつふつふー…。

よーし、こっちはおしまい♪
次、反対側、やるよ♪

(寝返りの音)

(位置2／有聲音／かなり小声で台詞ゆづり)

よーつし、こっちはもガツシソヤツチヤうからね♪

ああ、いいのいいの。

そんなに身構えないで?

ほれほれ、肩のチカラ抜いてー?

オッケー♪

ではでは、いつてみよー♪

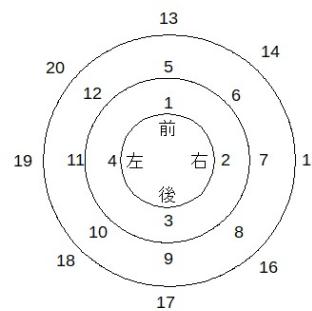
プチプチ…。

プチ…、プチ…。

おー、結構取れるねー…。

もしかしたら、いつも耳かき棒より、取れてるかも?
ねぇ、どうする?

今後もここの耳かき棒ですね~。



ふふつ♪

そつか…。

色々な刺激が欲しい…、つか。

流石は耳かきソムリエですなあー。

え?

そうだよ。

君はソムリエ、私は耳かきスト。
最強のコハビツて訳。

(小芝居)

ほう…、ブラシ状の耳かき棒…、とな?
これは…、ふむ…。

ブラシの突起、一つ一つが耳穴の壁を刺激。
つまり、やもていーという事…。

中々考えられていますなあ…。
して、ソムリエ殿…。

心地はいかがかな?

ふむ…。

ふむふむ…。

やはっせもていー…、と。

ではソムリエ殿…。

「のきもていー耳かき棒の星は…、いくつですかな…?」
「ゴクリ…。

あーっと、出たー。

これまでに一回…、あー…、三回ぐらしか出でていない、星五つだーーつ。
ちなみに最大で星三つです…。
といつことは、つまり…。

殿堂入りつ、殿堂入りですつー。

やりましたつ。

やりましたつ、ブリフシ耳かき棒パイセンつ。

パイセン、いまの心境を一画でお願いします。

(低い声で) 昨日(きのう)の夕食は、生姜焼き定食でした。

パイセン、それはただの報告だーつ。

しかも凄くどうでもいい情報つ。

いまの報告、ソムリエ的にはどう評価しますか?

今夜は…、生姜焼き定食?

あーつとソムリエ、食べたくなつてしまつてこるーつ。

影響されやすいソムリエ、それでいいのかーつ?

おつと、残念ですが、そろそろお別れの時間です。

それでは頃合、次は耳かせんピックでお会いしましよう。

(一)まで小芝居

んん…。

ねえ…、なにこれ…。

あー…、確かにやり始めたのは私だけど…。

にしても小芝居、長くない?

結構喋つたよ、私。

てか君もノつてきてたし♪

んでー?

今日の夕飯はもう決まりつぽいね?

はいはい、生姜焼きね♪

任せてよー♪

飛びつき美味しきの、作つちやうんだから♪
んじやあ、もつ少し続き、やつてごくねー。

プチ…、プチ…。

プチ…、プチ…。

ゴソ…、ゴソ…。

ゴソ…、ゴソ…。

ん…。

うん。

綺麗になつたよー♪

「いつも梵天ねー。」

ふわー…、ふわー…。

(耳ふー) ふー…。

ふわふわー…。

(耳ふー) ふつふつ…。

ふーわ…、ふーわ…。

(耳ふー) ふー…。

ふわっ…、ふわっ…、ふわわー…。

(耳ふー) ふー…、ふー…。

はーい、おしまー♪

魔女コス耳かき、どうだつた?

えー、毎回は無理ー。

だつてさ、着替えなきやいけないじやない?

それに「これからもつと寒くなるし…。」

あ、そうだ♪

寒くなつて、年末にあるものと並べばなーんだ?

そう♪♪

クリスマスー♪

当社はどうよつか?

なにかでお祝いする?.

例えば…、チキンとか、プレゼント交換とか♪
えー…。

なにかしようよー。

私だつて医師である前に、一人の女性。

クリスマスつて特別な感じがするからや、なにかしたいの一。
お好きにどうぞつて…、君ね…。

あ、いいの?.

チキンとケーキ、私一人で食べちゃうよ?.

へ?

太る…?

確かに…。

あー、もうつ。

んじゃあ、なにか考えておくからつ。

(拗ねる様に)

あ、でもヤ、思いついても教えてあげなーい。

知らなーい。

精々当口まで、ヤキモキすればいいんじゃないかなー?
ふーんだつ。

覚悟しておいてよねつ!

(ーー)まで拗ねる様に)

4・12月24日 クリスマスイヴ（病室／夜）1300文字

（ドアを開閉する音）

（位置20／有声音）

メリークリスマースツム

（縁の足音）

（位置5／有声音）

じゃーん♪

セクスイーゆかりサンタだよー♪

ど「うえ」、似合つてぬ？

え？

クリスマスは明日…？

あー…、確かにいうなんだけど…、その…、早く見せたかった…、的な？
えつとね…。

ハロウインの時に、コスプレしたじゃない？

それでその…、結構樂しくなつちゃつて…。

今日のために、また新しへ買つたやつた…、みたいな…？

（位置5／有声音／かなり小声）

だから君もせき合つて…

（位置5／有声音）

おほんっ、では改めまして…。

じゃーん♪

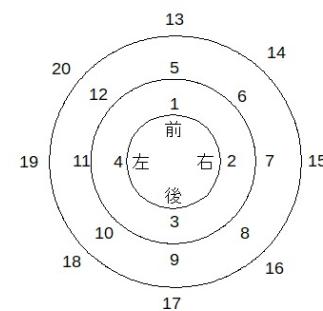
セクスイーゆかりサンタだよー♪

「」の子はー、いい子にしてしまったかー？

（位置5／有声音／かなり小声）

やうひ、君だよ、君つ。

知しかいないでしょつ。



(位置5から2へ移動しながら／有聲音／小声)

もう、こちいち流れを止めないでよねー。

(位置2／有聲音／小声)

君のノリが悪いと、私が恥ずかしいじゃない…。
でー?

君はー、いい子にしていたのかなー?
ほほーつ、いい子にしていた…、と。

ではそんな君には、プレゼントをあげようではないかー。
なにか欲しいものを一つだけ言ってみてーりん?
むむつー…

添い寝…、となつ?

成程、成程…。

ん?

そんなんでいいの?

(落胆した様に)

あのね、クリスマスだよ?

サンタ「コスだよ?

もつと「う…、欲に正面になつてもここと悪うんだけど…?
え?

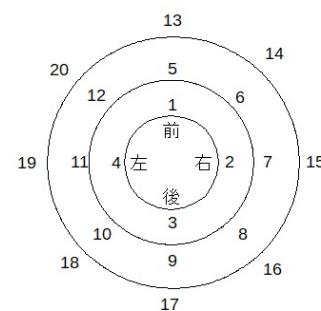
それ以外要らない…?

あ、そう…、はい…。

(ため息) はあ…。

(「」まで落胆した様に)

あのね…、せーつかくセクスイーなサンタ「コスをして來たの。
もつちゅつともに食い付いてくれてもいいんじゃないかなー…、なんて…。
へ…?



寒そり…?

またそれ言づ…?

へえ…、言つちやうんだ…。

あー…、わざ…、だね…。

確かに寒いね…、色々と…。

あーははつ…♪

で、えーつと…。

添い寝…、だつけ…。

オッケー。

添い寝ね…。

んじやあ、早速ベッドに入つてもいいかな…?
はーい…、お邪魔しまーす…。

(縁がベッドに入つてぐる音)

(位置1／有聲音／かなり小声)

おほー…、あつたかー…。

「んな格好で来ちゃつたから、手も足も冷えちゃつてセー…。
君が添い寝を希望してくれて、むしろ助かつたねー♪

(しんみりした演技)

あつ…。

そういう事だつたんだ…。

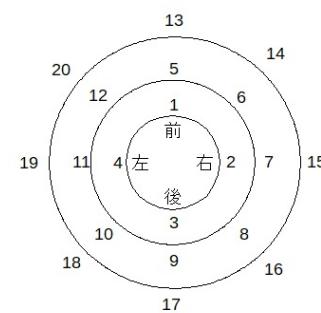
ああ…、その…。

添い寝して欲しいつて言つてくれたのは…、私のため…、だつたとか?
やつぱり…。

そうだつたんだ…。

その…、ありがと…。

私…、『んな性格だから…、君の優しさに気付けない事…、結構あるな…。



あとから気付いて…、嬉しくなつて…、切なくなる…。
変だよね。

私と君は、医師と患者…。

それだけの関係…。

分かってるの…。

でも…。

ううん…、これ以上はやめておけ…?

そう…、私は医師…。

君の記憶を取り戻すのが役目なんだもんね…。

それを見失つたら駄目…。

(「ここまでしんみりした演技」)

つて事で、この話はお終いね♪

えーっと、添い寝つて事は…、このままもつ寝りやつへ。

オッケー。

じゃあ少し早いけど、寝よっか♪

うん、お休みなさい♪

..。

ねえ…、ギュッてしたら…、駄目…、かな…?

あー…、その…、なんとなくなつてつ氣分と言つか、何と言つか…。
いいの?

じゃ、じゃあ…。

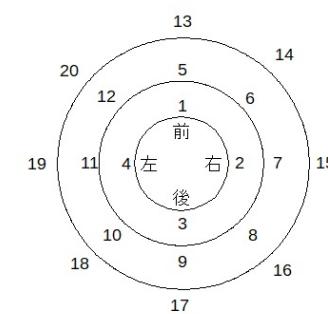
(縁に抱きしめられる音、心音)

(位置1／有聲音／かなり小声)

苦しく…、ない…?

そつか…、よかつた…。

え?



ああ…、うん…、なんだかギョキヤシのやつ…。

心臓バクバクして…。

そんなに聞けへる…？

わう…、なんだか恥ずかしい…。

ううん…、いこい…。

「まあまあで話せ…？」

ありがと…。

ねえ…、君は…。

もし記憶が戻つたら…、どうしたい…？

うん…。

そつか…、戻るといいね…、記憶…。

あ…、わうだね…、余りお喋りしてたら眠れない…。

うん…、お休み…。

(心音)

(心音にエフエクト)

(心音フローディスク)

5：12月25日 クリスマス（病室／朝）5750文字

（位置5／有聲音／かなり小声）

んん…、うーん…、んーーー、ふう…。

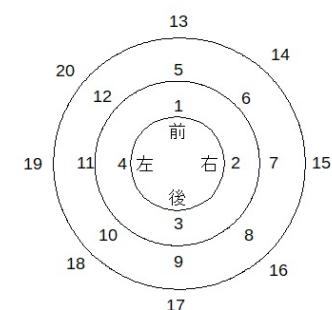
ああ…、おはよ…。

私もいつの間にか寝ちゃつてたみたい…。

君は…？

ぐつすり眠れた…？

ん？



どうしたの？

真面目な顔しちゃって…。

ゆかり…？

ふう…。

「…、縁先生、でしょ？

…」入きりだからって、忘れてもうつちや困る…。

(位置1／有聲音／かなり小声)

(縁に抱き着く音)

きやつー

ちよつ…、どうしちゃたの…？

怖い夢でも見た…？

へ…？

思い出した…？

う、嘘…。

え、ちよつと待つて…。

思い出したって、記憶が…？

嘘…。

嘘…。

ホントに思い出したの…？

えつと…、じゃあ…、医師として確認するね…。

君の名前は…。

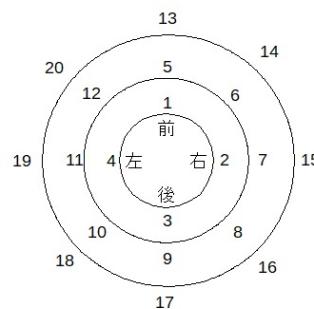
次…。

君の生年月日…。

次…。

(恐る恐るとこった感じで)

じゃあ最後…。



私の事……、分かる……？

(「」まどろみの感覚と重なった感じで)

さう……。

全部合つてね……。

私は天道縁。

職業、医師。

そして……、君の……、婚約者……。

ホントに思い出したんだ……。

どうして……。

なんで急に……？

うん……。

うん……。

心音が……？

(考え込む様に)

そんな単純な事で……。

ううん、でも人の脳は解明されてない事の方が多い……。
なにが引き金で記憶領域が刺激されるか分から……。
だつたら、心音が引き金になつたと考えるのが妥当か……。

(「」まで考え込む様に)

ああ、「」めんね。

ついつい癖で考え「」んじやつて。

そつかそつか……。

ああ、えつとね、今まで色々と試したんだ……。

直ぐには無理かもつて思つてた……。

けど、やつないよりはいいかなつて……。

そこでね……、追体験をしてもらおうつって考えたの……。

(思い出話をする様にゆっくり)

先ずは「Jの島…。

そう…、君の故郷…。

君が幼少期、「J両親と暮らしていた」の島…。

「Jに来れば何かが変わるかもって…。

一人で移住したのが始まり…。

記憶がない期間の事…、覚えてる…?

そう。

一月十四日…、どうバレンタインデー。

「Jの日はね…、君と私が出会った日なの…。

あー…、正確には、君が私を認識した日だね…。

そう言つた方が正しいかな?

あれは私が以前勤めていた病院…。

そう…、あの大きな病院ね。

私は医師…、君は医療器具メーカーに勤めるセールスマン…。

君が来る度…、Jで追ってる私が居た…。

ああ、惚れちゃつてるなつて思つたっけ…。

それでの日…、チョコレートを用意した…。

そしてさり気なく渡した…、つもりだった…。

「いつもお疲れ様。これどうぞ」つて。

君…、ビックリしたつて顔の後に、ニコッと笑つて…。

「義理でも嬉しいです」つて…。

本命なのについて、心の中で叫んだ…。

けど君には届かなかつた…。

あの時に渡したチョコね…、手作りだつたんだ…。

私つたら医療器具は上手く扱えるのに…、調理器具は点で駄目…。

何度も作り直したの…、今でも覚えてる…。

本氣で好きですって伝えたかった…。

でもそこまで勇氣が出なくて…。

それから一ヶ月…、君が訪れる度に「キドキドキしちゃって…。

ホワイトデーまでモヤモヤしてたんだ…。

待ちに待ったホワイトデー…。

私つたら、思春期の子みたいにソワソワしちゃって…。

その日、君が来るつて分かつてたから、余計に落ち着かなかつた…。

いざ来てみたらガッカリ…。

だつて君、ホワイトデーなんて、そっちのけだつたんだもん…。

いつも通りの君だつた…。

「…んちは、今日は寒いですね」つて…。

君つたらなんにも気付いていない風で…。

わざわざホワイトデーつて事を言い出す訳にもいかなかつたし…。

「…うだね」つて答えるしかなかつたな…。

君はあの頃からどんどん大きつた…。

でね、想つているだけじゃ駄目だつて気付いたの。

だから言葉に出して言つた事にした。

それがちょうどエイプリルフール…、四月一日だった…。

今度は私がすっかり忘れてた…。

君が訪れた時に通路に引っ張り込んで…、

驚く君に「好きです」つて勇氣を出して言つた…。

そしたら君、笑いながら「エイプリルフールですか」つて…。

初めてその日がエイプリルフールだつて思い出して、そして後悔した…。

君がどんどん…つて忘れてた事…。

そして自分のうつかりを加減を呪つた…。

それで私つたらすっかり落ち込んじゃつて…。

本氣だよつて言つたかったけど…、『いつタイミング、のがしかやつた…。

それからしづくは…、君の事は田で追うだけだった…。

所がそれは突然訪れた…。

あれはそつ、夏の初め頃…。

いつも通り君の事を田で追つてた…。

そしたら突然こちらに歩み寄つて来て、君から話しかけてくれた…。

「最近暑くなりましたね」つて…。

私は「えうね」つて素つ氣なく返しちやつたけど、

内心は飛び上がる程嬉しかつた…。

田で追うだけしか出来ない人が、向こうから話しかけてくれんだもん…。

浮かれていたら君、「あの、いつも僕の事見てませんか」つて…。

そこでしまつたつて思つたつけ…。

来る度に田で追つて…、見えなくなると見える位置まで移動して…。

まるで学生が好きな子を追うみたいに見てて…。

そりゃバレるよねつて…。

言い訳を考えていたら君、「今度、海に行きませんか?」つて…。

余りに唐突だつたから…、しづく意味が呑み込めなくて…。

それで私、認識が不明瞭なまま「は」つて返事しちやつて…。

その後まだ君が話してゐのに、私よく聞いていなくて…。

そして氣付いた…。

さつきのはデートのお誘いなんだつて…。

そしたら急に嬉しかと、恥ずかしさが入り混じつちやつて…。

私、その場から逃げちゃつたよね…。

その日ウチに帰つてから、冷静になつてみたんだ…。

君から誘つてくれたつて事は…、脈ありなんだ…、つて。

そこにある事に気付いた…。

海つて事は水着じやんつ…、つて。

それで部屋の中で右往左往しちやつて…。

最初のデートで水着つ?

あわわ…。どうしようつて…。

それに私、水着を着るの、学生以来だつたし…。
だから流行りとか全然知らなくて…。

ネットでめつちやその年のトレンドとか調べたんだ…。
で、やたら海デートの直前、覚えてる…?

そう。

カフェで待ち合わせて、海デート当日の再確認をしてた時…。

君、急に真剣な顔をして、「好きです」つて…。

話の流れを遮つて来たもんだから、私は然としちやつて…。

私としてはもつ、君しか考えられないつてくらい好きになつていていたから、
「私もです…」そう答えるほかなかつた…。

少しの沈黙のあと、君、「エイプリルフールじゃないですよね?」つて。
そこで全部理解した…。

エイプリルフールの時、私が「好きです」つて言つた事…。

君は本気つて事に気付いてたんじやつて…。

君はズルい…。

私の気持ちを知つていながら…、そんな気も見せないで居たんだもん…。
でもね…、そつは思つたけど…、嬉しかつたよ…。
うん…。

お互い同じ気持ちなんだつて…。

片方の想いだけでは…、叶わない事だもん…。
嬉しかつた…。

だから「付キ合つて下セ」って言えた…。

君は「勿論」って、そつと手を握ってくれた…。

嬉しくて、照れくすぐり、嬉しかったっ♪

そう、嬉しいが一つ付くべうじだった…。

で、海テート当口…。

気合を入れた水着に、君は大興奮♪

鼻の下伸ばしちゃつてセ…。

まあ?

私としては、してやつたりつて感じだつたけどねー♪

君つたら、海に来たのに泳ぎもせずに、私の事を見てたよね♪
「泳がないの?」って訊ねたら、「あれど」「ひじやないつー」って♪

結局大して泳ぎもせずに、波の音を聞いて帰つちゃつたつけ…。
でも楽しかつたんだよ?

だつて好きな人が、私を見て嬉しかつてしてるんだもん♪

私だつて嬉しかつたよ…。

そういうつしてこむ内に、夏も終わつちやつて、

付き合い始めて三ヶ月…。

そうハロウイン…。

君は事前に「興味ない」って言つてたから、そつかーつて思つてたのに…。
当口ウチに帰つたらビックリつ♪

部屋中が飾り付けされて、君もドーナツキュラのコスプレして、準備万端♪

騙されたーつて思つたけど、嬉しいサプライズだった♪

私も用意してた魔女のコスプレに着替えて、乐しかつたよね♪

君があんなにはしゃいでるの、初めて見たかも♪

そんな楽しい日も終わつちやつて…、冬本番…。

寒いけど…、ウキウキする季節…。

そう、クリスマス♪

君と付き合つて初めてのクリスマスだつたから、すつしんべ楽しみで…。

ケーキは?

チキンは?

レストラン予約する?

つて色々質問攻めにしちやつて…。

どうせならどつか泊まりに行こうか?

つて話も出たつけ♪

結局はウチでゆつくりする事になつたんだよね♪

チキンとケーキを食べて…、幸せだった…。

なのに君つたら…、どこか上の空で…。

どうかしたのつて聞いても、「何でもない」の一矢張りで…。

うん…、明らかにあの時は様子が変だつた…。

そう思つていたら、「駅前のツリーでも見に行かない?」つて言つ出して…。

「寒いけどいいの?」つて言つたけど、君はもう行く氣満々で…。
駅前に着いて、流石はクリスマスだなつて思つたつけ…。

ツリーの周りはカッフルや、待ち合わせの人たちで一杯だつた…。

でも不思議だつたんだよね…。

いつもは人混みとか避けてる君が、どうしてここにつて。
でもその答えは直ぐに分かつた…。

君…、突然私をグッと抱き寄せてきて…、耳元で「結婚して下さる」つて…。

一瞬何が起こつたか分からなかつた…。

人混みだつたし、聞き間違いかとも思つた…。

ううん、違う…。

信じられなくて…、嘘みたいで…、でも嬉しくて…。

心の中がぐちゅぐちゅに入り混じつちゃつて…。

どう返したらいいのか、直ぐに出て来なかつた…。

でも次第に君に言われた言葉が、心中で鮮明になつて来て…。

氣付いたら涙がポロポロ頬を伝つてた…。

ああ私、プロポーズされたんだつて…。

そう思つた瞬間、周りの喧噪がまつたく聞こえなくなつて…。

しばらぐのあいだ、静寂が訪れた…。

そう…、あの場は君と私だけの世界になつた…。

ああ…、返事…。

プロポーズの返事をしなきやつて思つたけど…、言葉が出て来なかつた…。

心中では嬉しい気持ちと、幸せな気持ちで溢れていたのに…、

言葉を紡いだとしたけど、どうしてか出来なかつた…。

だから凄く簡単な返事になつちやつたよね…。

ただ一言。

「はい」つて…。

でも君にとつて答へはそれで十分だつたみたいで…、

凄く嬉しそうにギュッと抱きしめてくれた…。

その時私は、「世界一」幸せだつた…。

でも…、幸せな時間はそう長くは続かなかつた…。

日付けが替わる直前、クリスマスももう終わりかなつて時間だつた…。

駅前から歩いて帰る途中…、今後どうしようか話してた最中だつたよね…。

赤信号を無視して來た車が私たち目がけて突っ込んできた…。

ヘッドライトが眩しくて、一瞬の出来事で、どうする事も出来なかつた…。

もの凄く大きな音がしたと思ったら、そこから少しの間記憶がなくて…。

気付いたら私は倒れていた…。

朦朧とする意識の中で…、突っ込んできた車が視界に入つた…。

停止した車の脇には…、君が横たわつていた…。

どうにか立ち上がった私は…、君の下（もと）によろよろと歩み寄った…。

そしてそれに気付いた…。

君が怪我をしてるつて…。

それも普通じゃない怪我…。

一瞬で頭のスイッチが切り替わって、横たわる君に駆け寄った…。

君は…、息をしてなかつた…。

さつきまで笑つてた顔…。

さつきまで握つてた手…。

さつきまで共に歩んでた足…。

全身が傷だらけだつた…。

泣き出しそうな気持ちと、医師としての本能がせめぎ合つてた…。

駅からさう遠くない場所だつたから、誰かが通報してくれたんだろうね…。

程なくして救急車が来て、私も無我夢中で乗り込んだ…。

隊員さんに医師である事を伝え、必死に応急処置をしようとした…。

しようとしたり…、処置の施し様が思い当たらなかつた…。

それ程君は…、傷付いていた…。

頭が真っ白になりそうになるのを必死に堪えた…。

泣き出したい気持ちをグッと抑え込んだ…。

助けてって叫び声になるのを喉元に押し込めた…。

成す術もなく呆然としている内に、病院に着いた…。

「ここからは入れません」 そう言われて、君は緊急手術室へ消えていった…。

天国と地獄。

そんな感じだつた…。

その時は何も考えられなくて…。

医師なのに何もしてあげられないっていう無力感だけがのしかかつて來た…。ただただ助かつて欲しいつて考える事しか出来なくて…。

医師のくせに…、祈つて…。

祈つて…。

祈り続けて…。

夜明け頃になつて手術室のドアが開（ひら）いた…。

「両親が安堵した表情をしていたから、一命は取り留めたんだって分かつた。その瞬間、緊張の糸がプリンと切れて、私は意識を失つた…。

私が覚めると、廊下のソファに寝ていて、君のお母さんが一緒に居てくれた。私が目覚めたのを見ると、「大変だったね」って、ニツコリと微笑んだ…。

大変なのは君と、その「両親だつたのに…。

その気遣いが嬉しくて、何も出来なかつた自分が悔しくて、

私つたらお母さんの前でわんわん泣いちゃつて…。

ようやく泣き止んだ頃に教えてもらつた…。

お母さんによると、事故の原因是飲酒運転による信号無視。

せひにスピードの出し過ぎにより、制御不能になつた事によるものだった。

私たちはそれに巻き込まれた…。

君は意識不明の重体…。

私は奇跡的に軽傷で済んだ…。

きっと君が守ってくれたんだよね…。

今でもそう信じてる…。

君は一週間後に意識を取り戻した。

「両親も私も、手を取り合つて喜んだ…。

でもそれも束の間…、君は記憶を失つていた…。

ほぼすべての記憶をね…。

これが私たちが出会つて、そしてこの島に来る事になつた全貌…。かけがえのない思い出…。

決していい思い出とは言えないけど、君との大事な記憶…。

それが今…、戻ってきたんだよね…？

いま私が話した事…、齟齬（ハーハー）はない…？

そつか…、本当に記憶が戻ったんだ…。

事故から一年…。

たつた一年しか経っていないんだ…。

色んな文献を読み漁って…、持つてた知識を総動員して…。

毎日あの手この手で手探りしてたからね…。

まるで効果が表れなくて…、泣き散らになつた時もあつたんだよ…。

でも我慢した…。

泣くのは君の記憶が戻った時…、その時に残しておいたってね…。
だからセ…、「」のあと、ちょっと時間もひいてもいいかな…？

うん…、ありがと…。

え…？

やり直す…？

なにを…？

プロポーズ…？

い、いま？

「」で…？

私は構わないけど…。
あ、ちょっと待つて。

(深呼吸) す…、ふ…。

よし…。

いいよ。

心の準備は出来た…。

うん…。

うん…。

うん…。

(大きく息を吸つて小声) はい…、不束者ですが、よろしく願いします…。

うん…、幸せにしてね…。

じゃあヤ…。

あのヤ…。

ちょっと泣くから…、胸…、貸して…。

うん…、ありがと…。

ねえ…。

あのね…。

お帰り…、なさい…。